

# 主要な個別事業の 取組状況

## 事業名

分野1	子ども	：塩竈市就学前教育・保育施設整備等補助事業	…	1 p
分野5	交	流	：門前町活性化事業	… 3 p
分野6	文	化	：アートプロジェクト事業	… 5 p
分野7	協	働	：国際交流事業	… 7 p
分野8	浦戸諸島	：浦戸再生プロジェクト推進事業	…	9 p

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 1)

分野	1 子ども	まちづくりの目標	子どもたちの笑い声があふれるまち
		まちづくりの方向性	～ 健やかに育つ・育てる環境づくり ～

事業名	塩竈市就学前教育・保育施設整備等補助事業	担当部・課	福祉子ども未来部 保育課
-----	----------------------	-------	-----------------

施策体系	施策の柱	(第1節) 「妊娠」から「子育て」までの切れ目ない支援体制の構築	
	施策名	2	働きながら安心して子育てができる環境づくり

事業の概要	取組の背景	本市就学前児童数は減少傾向にあるが、保育施設の利用児童数は微増傾向にあり、待機児童への対応が課題となっている。また、多様な保育ニーズに対応するため、延長保育や一時預かり、病児保育のほか、保育事業者の特色を生かした保育など、保育サービスの充実が求められている。		
	趣旨・目的	保育施設を新設し、受入れ人数を増やすことにより、待機児童を解消する。また、民間保育事業者と連携・支援することにより、保育サービスの充実を図る。		
	実施概要	保育施設等を整備する事業者に対して、国の交付金を活用して補助金を交付するもの。 ・やまつみ保育園 178,798千円 ・NOVAバイリンガル塩竈後楽町保育園 157,747千円 ・パドマ幼稚園 54,193千円	事業費	(千円) 390,738
	令和6年度の取組方針・目標値	パドマ幼稚園の認定こども園化に向けた整備（令和5・6年度2か年事業）及びやまつみ保育園の病児保育棟建設について、令和6年度中の竣工が確実に実現できるよう、連携・支援をしていく。		
	これまでの取組状況	○保育施設新設 ・やまつみ保育園 令和6年4月1日開園 認可定員60名 ・NOVAバイリンガル塩竈後楽町保育園 令和6年4月1日開園 認可定員60名 ※令和6年度当初待機児童数 0名 ○認定こども園化（令和5・6年度2か年事業） ・パドマ幼稚園 令和5年度工事進捗率15%		
課題	保育の需給状況を踏まえ、公立保育所の段階的縮小等対応が必要となってくる。また、民間保育施設の良好な環境を維持するため、事業者の状況を把握し計画的な修繕等を支援する必要がある。			
令和6年度以降の展開の方向性（改善方法）	令和7年4月 幼保連携型認定こども園パドマこども園（仮称）開園 令和7年4月 やまつみ保育園病児保育事業開始（本市初）			
関連する成果指標	待機児童数（年度当初）	SDGs	 5.ジェンダー平等を実現しよう	
未来創生プロジェクト	2.よこび実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	-	
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野1	地元で働きながら子育てをする暮らし	

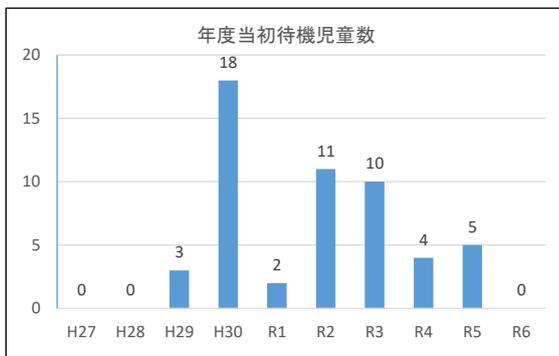
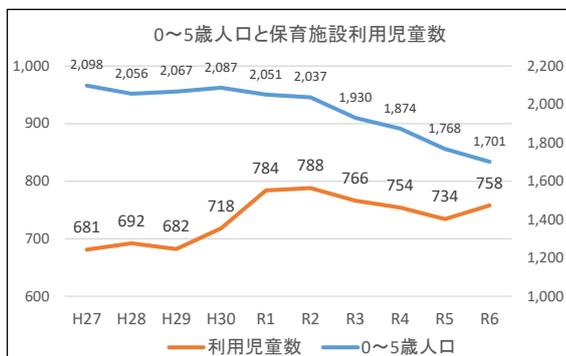
分野1：子ども  
子どもたちの笑い声が  
あふれるまち



# 塩竈市就学前教育・保育施設整備等 補助事業

## 1. 年度当初待機児童数ゼロを達成

就学前児童数（0～5歳人口）は概ね年々減少している。一方で、保育施設の利用児童数は、直近3か年（R3～5）は減少したものの、令和6年度は24名増加となり、長期的には微増傾向が見られる。待機児童は平成29年度から継続して発生しており、課題となっていた。本事業により、新施設2園が開園し、保育の受け皿を整備したことで、令和6年度当初待機児童数ゼロを達成した。



## 2. 保育サービスの充実

令和6年4月に開園した新施設2園の参入により、本市における保育サービスの充実が図られた。

### (1) やまつみ保育園

- ・事業者：社会福祉法人永遊舎
- ・所在地：塩竈市字石田29-1
- ・特色：保育施設の空白地域であった本市北東部に整備された施設

伊保公園や浦戸地域など本市の地域性を生かしながら「生きる力」を育む保育に取り組む  
その他、延長保育、一時預かりや体調不良児対応型病児保育も行っている



### (2) NOVAバイリンガル塩竈後楽町保育園

- ・事業者：株式会社NOVA
- ・所在地：塩竈市後楽町21-7
- ・特色：令和10年度廃止予定の清水沢保育所の近隣に整備された施設

外国人スタッフとの活動や英会話プログラムにより異文化や多様性への理解を育む保育  
その他、延長保育、一時預かりを実施。土曜日も19:00まで保育を行っている



## 3. 今後の予定

### (1) バドマ幼稚園の認定こども園化

令和5～6年度の2か年事業として園舎建替え工事を行っており、令和7年4月に幼保連携型認定こども園バドマこども園（仮称）として開園予定。認定こども園化により、保護者の就労状況に関わらず利用が可能になるとともに、需要の高い低年齢児の受け皿が確保される。

### (2) 病児保育事業の開始

やまつみ保育園では、令和6年度に病児保育棟を隣接地に新設し、令和7年度より病児保育事業を実施予定。子育て世代の仕事と子育ての両立をサポートし、子育てしやすいまちづくりの一助となることが期待される。

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 2)

分野	4	産業	まちづくりの目標	活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち
			まちづくりの方向性	～ 活力に満ちた産業づくり ～

事業名	門前町活性化事業	担当部・課	産業建設部 商工観光課
-----	----------	-------	----------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 商工業者の持続的な経営安定や事業承継・新規創業への支援の充実による地域活力の向上		
	施策名	3	個店の魅力がつながる商店街づくり	

事業の概要	取組の背景	本市の顔である門前町地域は、鹽竈神社への観光客は多いものの観光動線が脆弱であり、郊外型大型店舗の進出に伴う商店の廃業や空き地の増加により商店街の連担性が失われている等、地域一体としての賑わいが不足している状況である。		
	趣旨・目的	門前町の再生に向けた検討組織である門前町再生検討部会の検討内容を基とし、門前町地域の関係者が主体となり、改めて地域関係者自らが門前町の現状を分析するとともに将来像を見出し、実現に向けた体制整備や計画化を行うもの。		
	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門前町ミーティングの実施</li> <li>・拠点整備に向けた検討</li> <li>・道路活用実証実験「塩竈門前町カフェタイム」の実施</li> <li>・門前町歩行者アンケートの実施</li> <li>・空き店舗調査の実施</li> </ul>	事業費	(千円) 583
	令和6年度の取組方針・目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門前町ミーティングを継続して実施することにより、地域関係者が主体となって門前町の「理想の姿」の実現に向けた取り組みを行う。</li> <li>・道路を活用したイベントを継続して実施し、昨年度より協力店舗を増やす。</li> <li>・関係機関と協議しながら、主要地方道塩釜吉岡線のほこみち指定に向けた取り組みを行う。</li> </ul>		
これまでの取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門前町ミーティングの開催（令和4年度：3回、令和5年度：2回）</li> <li>・道路活用実証実験「塩竈門前町カフェタイム」の実施</li> <li>・門前町歩行者アンケートの実施（回答数：61件）</li> <li>・空き店舗調査の実施（調査件数：9件）</li> <li>・拠点整備に向けた検討</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント実施時には賑わいが生まれるが、依然として日常的な賑わいは不足している状況である。</li> <li>・現状、行政主体の取り組みとなっているため、地域関係者主体のやり方にシフトしていく必要がある。</li> </ul>			
令和6年度以降の展開の方向性（改善方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道や空き地、空き店舗等を活用した、門前町エリアにおける徒歩での回遊および長時間の滞在を促す仕掛けづくりを検討し、イベント時だけでなく日常的な賑わいの創出を目指す。</li> <li>・拠点の立地、整備費財源の確保、維持管理の実施主体や維持管理の経費等、持続可能な拠点整備に向けた整理を行う。</li> <li>・門前町の賑わいづくりにおける担い手の確保を含む、持続可能な実施体制づくりの検討を行う。</li> </ul>			
関連する成果指標	—	SDGs	—	
未来創生プロジェクト	3. やりがい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	中心市街地商業活性化事業	
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野5	初デートで本町を歩く暮らし	

## 分野4：産業

活気があり、  
誇りをもって  
働いている人が  
たくさんいるまち



# 門前町活性化事業

## 門前町ミーティング

ファシリテーターに宮城大学事業構想学群 准教授 佐々木秀之 氏を迎え、事業者などのエリア関係者・大学生・高校生など多様な参加者によるワークショップを実施して意見収集を行った。

令和4年度は門前町の目指すべき姿の共有を行い、令和5年度は門前町の賑わいづくりに向けたアクションアイデアの創出を図った。

### 各回 参加者数

年度	日程	回数	参加者数
R4年度	10月4日	第ゼロ回	25名
	11月21日	第1回	17名
	3月8日	第2回	21名
R5年度	10月17日	第3回	14名
	1月23日	第4回	25名



## 道路活用実証実験「塩竈門前町カフェタイム」

- 開催日 令和5年11月12日(日)  
※11日(土)は天候不良のため中止
- 開催場所 鹽竈神社表坂下から壱番館付近までの鹽竈海道  
(主要地方道塩釜吉岡線)
- 内容
  - 沿道店舗に店舗前歩道への出店や飲食スペース設置を勧奨。
  - 鹽竈海道沿いの歩道に、食べ歩きを促すオープンカフェ空間等を設置。
  - 宮町公用車駐車場を無料駐車場として開放。本部テントを設置して観光パンフレットを配布。

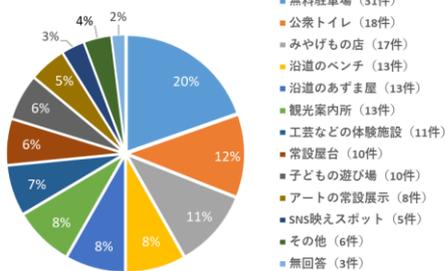


## 門前町歩行者アンケート(抜粋)

有効回答数:58(回答件数:61) 回答総数:155

どんな施設や設備があるとよいと思いますか。

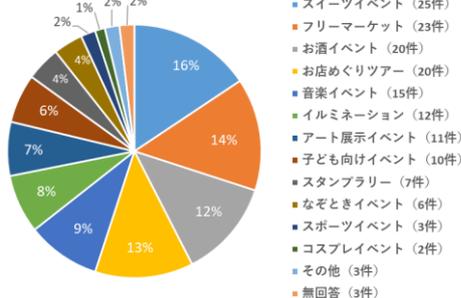
(複数回答可)



有効回答数:58(回答件数:61) 回答総数:157

どんなイベントがあるとよいと思いますか。

(複数回答可)



## 空き店舗調査

- 実施期間 令和5年10月16日(月)～令和6年1月31日(水)
- 調査方法 空き店舗の所有者に対し、空き店舗の活用意向や貸出する際の条件等について聞き取りを行った。
- 調査件数 9件

### 空き店舗所有者が求める3要素

#### 地域性

- ・地域に必要な機能としての利用
- ・地域の業種とのバランス
- ・地域の需要とのマッチング

#### 人間性

- ・貸し手と借り手の密なコミュニケーション
- ・信頼関係の構築
- ・行事への参加

#### 金銭

- ・長期的な安定した家賃収入
- ・精度の高い出店戦略
- ・ニーズに合った補助金・支援策

## 拠点整備に向けた検討

観光庁「広域周遊観光促進のための専門家派遣事業」を利用し、まちづくりの専門家より、門前町の活性化のためには、歩道への快適なベンチの設置や食べ歩きニーズに沿ったテイクアウト販売等が効果的であるという助言や、宮町分庁舎跡地の活用方法に関する提案をいただいた。



「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 3 )

分野	6	文化	まちづくりの目標	日常に彩りがあるまち
			まちづくりの方向性	～生涯にわたって学びあえる風土づくり～

事業名	アートプロジェクト事業	担当部・課	教育部 文化スポーツ課 (現：生涯学習課)
-----	-------------	-------	-----------------------------

施策体系	施策の柱	(第3節) 芸術・文化・スポーツなど、各分野で活躍できる人材の育成		
	施策名	3	文化の創造や発信の促進	

事業の概要	取組の背景	小中学校アートプロジェクト事業については、市制施行80周年記念事業として第二小学校で実施した壁画アートが好評だったことから、他の小中学校でもアートプロジェクト事業を継続して実施するもの。		
	趣旨・目的	小中学校アートプロジェクト事業は、アート作品を制作する経験を通し、未来の芸術・文化を支える人材を育成するとともに、生徒の愛校精神やシビックプライドの醸成を図るもの。また、新たに地域住民やアーティスト、市職員が協働で取り組む屋外アートプロジェクトを実施することで、幅広い年齢層における地域交流を深め、地域コミュニティの活性化を図る。		
	実施概要	小中学校アートプロジェクト事業は、開校150周年を迎える第一小学校の6年生26名が塩竈市出身のアーティストの指導のもと、塩竈の風景を題材に未来の塩竈をテーマにしたジオラマを制作。屋外アートプロジェクト事業は、港町公園のアスファルトを巨大な水槽に見立て、チョークを使って自由な「1日限りの水族館」を創りあげた。	事業費	(千円) 1,287
	令和6年度の取組方針・目標値	小中学校アートプロジェクト事業については、第三小学校の児童生徒とアーティストが共に、校舎内で情緒感じる風景を撮影し、その画像をアーティストがカラージュシアートバナーを制作し、校内に掲示する。屋外アートプロジェクト事業は、昨年度同様、港町公園のアスファルトを巨大な水槽に見立て、チョークを使って自由な「1日限りの水族館」を創りあげる。		
これまでの取組状況	(小中学校アートプロジェクト事業) ・令和3年度 第二小学校で壁画アートを実施 ・令和4年度 杉の入小学校で布貼り絵を実施 ・令和5年度 第一小学校でジオラマ制作を実施 (屋外アートプロジェクト事業) ・令和5年度 港町公園で屋外アートプロジェクト事業を実施			
課題	小中学校アートプロジェクト事業については、制作にあたり授業の一環として技術家庭科の時間に実施したが、授業の枠を超えて取り組んだことから今後は十分な制作時間を確保する必要がある。			
令和6年度以降の展開の方向性(改善方法)	小中学校アートプロジェクト事業については、今後は全ての市内小中学校で実施する。			
関連する成果指標	—	SDGs	—	
未来創生プロジェクト	2.よこび実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—	
	—	—	—	
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野6	土地の文化をアートで表現する暮らし	



## アートプロジェクト事業

令和5年9月、第一小学校6学年の26名の児童たちは、塩竈の風景を題材に架空の地方都市を描く、一小出身のアーティスト・釣舟富紀子さんと共に、未来の塩竈をテーマにしたジオラマの共同制作を行った。児童は、着彩や組立てを行い、その後、釣舟富紀子さんの手が加わり、未来の塩竈のジオラマを完成させた。作品は、第一小学校150周年記念式典でお披露目され、壱番館4階のタイムシップ塩竈に展示された。



▲ジオラマのパーツに着彩



▲着彩したパーツを組立て



▲第一小学校150周年記念式典でお披露目



▲壱番館4階タイムシップ塩竈に展示

令和5年10月、港町公園において、公園のアスファルトを巨大な水槽に見立て、チョークを使って自由な「1日限りの水族館」を創り上げる屋外アートプロジェクトを行った。誰もが思い思いの絵を描くことのできる体験型アートを楽しむ企画であった。



▲チョークを使って思い思いの絵を描く



▲1日限りの水族館完成

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 4)

分野	7 協働	まちづくりの目標	みんなが主役になれるまち
		まちづくりの方向性	～さまざまな個性がつながり、役割を發揮できる環境づくり～

事業名	国際交流事業	担当部・課	総務部 政策課
-----	--------	-------	------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 大学や企業等との交流・連携・共創と多様化する社会への理解促進	
	施策名	3	多文化共生社会への理解促進

事業の概要	取組の背景	市制施行80周年(令和3年度)を契機に、100周年に向けて開始した事業。		
	趣旨・目的	塩竈市に在住する中学生が国際社会で活躍できるよう、海外研修の場や在留外国人との交流などを通じて、異文化の理解を深めるだけでなく、自国文化を再理解することで、自己表現や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力の定着を図るもの。		
	実施概要	市内中学校に在籍、もしくは市内に住所を有する中学2年生の生徒から参加者の募集・決定を行い、事前研修、本研修、事後研修、報告会を実施。	事業費	(千円) 3,808
	令和6年度の取組方針・目標値	令和6年度は前年度事業で得た関係機関との繋がりをさらに強固なものにするため、引き続き韓国で本研修を行う。前年度以上に人との関わりを増やすべく、企業訪問等を検討する。		
これまでの取組状況	<p>○令和3年度…参加者：5名、事前研修(計3回)、本研修(東京都、神奈川県)、事後研修(計1回)、報告会を実施。</p> <p>○令和4年度…参加者：7名、事前研修(計3回)、本研修(沖縄県)、事後研修(計3回)、報告会を実施。</p> <p>○令和5年度…別紙補足資料参照。</p>			
課題	参加する中学生にとって意義のある海外研修となるよう、見直し・改善を図りながら、継続して実施していく必要がある。			
令和6年度以降の展開の方向性(改善方法)	希望があれば韓国から塩竈市への訪問を受け入れ、相互交流を推進していく。また、韓国以外の海外研修地についても視野を入れながら、内容の検討を進める。			
関連する成果指標	—	SDGs	 4.質の高い教育をみんなに	
未来創生プロジェクト		横連携・好循環が期待される施策等	—	
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野7	子どもたちが外国人と交流する暮らし	

分野7：協働  
みんなが主役になれるまち



# 国際交流事業

## 令和5年度塩竈市中学生国際交流研修事業

1. 参加者数  
8名(第一中学校2名、第二中学校3名、玉川中学校2名、東北学院中学校1名)

2. 事業実施状況  
(1)事前研修

実施日	内容	協力者
令和5年10月28日	アイスブレイク、第二期生との座談会 海外で活躍する人との交流	前年度参加生徒 カメイ(株)
令和5年11月18日	韓国文化・語学事前研修 フィールドワーク設計	仙台韓国教育院
令和5年12月9日	本研修オリエンテーション フィールドワーク設計、ギムチ作り教室	在日本大韓国民団宮城県塩釜支部



事前研修の様子

(2)本研修  
韓国ソウル特別市で4泊5日の研修を実施

実施日	内容
令和5年12月24日	青瓦台、景福宮、南大門市場、HIKR GROUND訪問、NANTA鑑賞
令和5年12月25日	ソウル市内フィールドワーク ロッテワールド訪問
令和5年12月26日	江東中学校訪問(文化交流、授業体験等) 在韓民国日本国大使館訪問(仕事内容 説明、職場体験)



本研修(景福宮)



本研修(江東中学校訪問)

(3)事後研修  
塩竈市役所本庁舎内で計3回実施

実施日	内容
令和6年1月13日	研修の振り返り 報告会の発表練習
令和6年1月27日	
令和6年2月17日	



事後研修の様子

(4)報告会  
塩竈市魚市場で実施

実施日	内容
令和6年3月2日	・参加者からの報告 ・講評(市長、副市長、仙台韓国教育院 院長) ・研修振り返り動画の放映 ・修了証書授与 等



報告会の様子



報告会の様子(修了証書の授与)

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 5 )

分野	8 浦戸諸島	まちづくりの目標	自然と調和した 和やかな暮らしと癒しがあるしま
		まちづくりの方向性	～ 人々が住まい・集える持続可能な島づくり ～

事業名	浦戸再生プロジェクト推進事業 他	担当部・課	市民生活部 浦戸振興課
-----	------------------	-------	----------------

施策体系	施策の柱	(第3節) 浦戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進	
	施策名	1	個性ある地域資源をつなぎ合わせた交流活動の推進

事業の概要	取組の背景	浦戸諸島においては、人口減少や高齢化などにより島内の地域活動の担い手不足や既存コミュニティの維持が難しくなっている状況にある。		
	趣旨・目的	持続可能な島づくりに向け、まずは、市民が浦戸に行く機会を設けるなど、今ある浦戸の資源を活用し「交流」をキーワードに浦戸に来てもらう取組を進める。		
	実施概要	着手できる事業から積極的に取り組む体制を整え、スケジュール感をもって様々な手法を検討・活用しながら課題解決を目指す。	事業費	(千円) 12,214
	令和6年度の取組方針・目標値	取組方針①浦戸への交流人口の拡大②HP、SNSを活用した情報発信の強化 目標値 市営汽船乗船客数(観光客数)の前年度10%UP (R5:36,000人⇒R6:39,600人)		
これまでの取組状況	○令和4年度 地域おこし協力隊の募集、浦戸諸島魅力発信事業(HPIリニューアル) ○令和5年度 ①情報発信(HP・SNS)・地域おこし協力隊の任用②朴島浮棧橋整備事業③防災集団移転跡地の利活用(芝生化)④浦戸観光客用中駐車場トライアル事業⑤校外学習支援事業			
課題	浦戸諸島は、人口減少や高齢化などの厳しい状況に直面しており、地域活動を支える担い手が不足している。また、浦戸諸島自体の認知度が低い。			
令和6年度以降の展開の方向性(改善方法)	・HP、SNSを活用して、効果的な情報発信、PRを引き続き実施していく。 ・浦戸諸島への興味を広めることで交流人口の拡大や新たな関係人口の創出に繋げる事業を引き続き実施していく。 ・次のステップとして、島の生業に繋がる事業を展開する必要がある。			
関連する成果指標	市営汽船乗船客数	SDGs	-	
未来創生プロジェクト	3.やりがい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	観光プロモーション事業	
関連する「塩竈らしい100の暮らし」	 分野8 浦戸で休日を過ごす暮らし			

分野8：浦戸諸島  
自然と調和した  
和やかな暮らしと  
癒しがあるしま



# 浦戸再生プロジェクト推進事業

## 目標設定：市営汽船乗船客数の推移

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観光	47,737	34,627	33,708	31,776	36,002
島民	53,921	45,769	46,055	44,857	44,212
定期	57,150	59,350	47,650	48,766	44,876
計	158,808	139,746	127,413	125,399	125,090

### 『目標』

コロナ禍の影響で減となった観光客数を戻す取り組みを実施する。

- ①浦戸への交流人口の拡大・関係人口の創出
- ②HP、SNS等を活用した情報発信の強化

## 令和5年度の取り組み

### 【①情報発信（HP・SNS）・地域おこし協力隊の任用】

浦戸の認知度が低いことから、R4にHPのリニューアルを行い、情報発信強化のため、R5には地域おこし協力隊を2名採用した。協力隊はSNSを用いた情報発信を活発に行うとともに、積極的に島民との交流を深めることで浦戸諸島に新たな風を巻き起こしている。



島民同士の交流を目的に協力隊が企画し開催された「うらとカラオケ大会～寒風沢編～」



月1回発行の協力隊活動レポート

### 【②朴島浮棧橋整備事業】

島民からの要望が高かった朴島浮棧橋について設計業務に着手した。令和6年度内の供用開始を目指す。



赤枠が設置予定箇所

### 【③防災集団移転跡地の利活用（芝生化）】



参加型ワークショップ形式により  
り広大な土地を芝生化へ。  
島への愛着を醸成！



芝生植え体験in桂島(R6.1月実施)



上空からの桂島防災集団移転跡地

### 【④浦戸観光客用駐車場トライアル事業】

浦戸への観光客及び帰省者等の負担軽減と利便性向上のために、県所有の港湾用地を活用した駐車場トライアル事業（料金無料、駐車台数：28台分）を実施した。

No.	開設期間	利用台数	備考
1	R5.7.21～R5.8.23(34日間)	248台	夏休み期間
2	R5.12.29～R6.1.3(6日間)	42台	年末年始
合計		290台	

夏休みや年末年始以外にもGWや行楽シーズンの土日など期間を限定した開設を検討する。

### 【⑤校外学習支援事業】

市内の子どもたちが浦戸に行く『きっかけ』作りとして、市内の小中学校等の校外学習や遠足先として、浦戸を訪れる機会を提供した。

【R5実績：12団体、413人の参加】

#### 【活動メニュー】

島内散策、タッチプール、  
貝殻拾いワークショップ、生き物観察、牡蠣処理場見学  
他



第三小学校：タッチプール



玉川小学校：島内散策